

平成22年度主要施策等一覧

平成22年2月
(◎=新規 ☆=拡大)

1 心豊かに学び、地域文化をはぐくむまち（生涯学習）

- ☆ ① **理科教育等振興設備費(小学校)**(◎行政P17) **5,000千円**
新学習指導要領に基づき必要となる理科教材を一括整備
- ☆ ② **特別支援教育業務経費**(◎行政P15) **10,100千円**
LD（学習障害）やADHD（注意欠陥・多動性障害）、高機能自閉症などの障がいのある児童・生徒を支援するため、特別支援教育支援員を平成20年度から配置。配置要望のある学校に対し年次計画で支援員を配置
・平成21年度 小学校5名 → ・平成22年度 小学校10名に増員
- ◎ ③ **校舎等の整備** **19,900千円**
◎ 校舎洋式トイレ設置事業費（◎維持補修P4） 12,400千円
小学校13校、中学校9校に設置。各階の男女トイレに1か所以上設置。平成22年度で全校の整備完了
◎ 児童生徒用いす補修事業費（◎維持補修P4） 7,500千円
小学校1,500脚、中学校1,000脚
- ◎ ④ **校務用パソコン整備事業費**(◎行政P16) **2,121千円**
教員が校務で使用するパーソナルコンピューターを整備
・パーソナルコンピューター 100台/年 リース方式により整備
- ◎ ⑤ **奨学金**(◎行政P15) **3,520千円**
経済的な理由により就学困難な高校生等に対し学資を給与し、有用な人材を育成
平成22年度から、公立高校の授業料の無償化と私立への高等学校等就学支援金創設により奨学金制度を次のとおり改正
平成21年度まで } 平成22年度から
給与 48,000円/年 } → 給与 50,000円/年
貸与 36,000円/年 }
計 84,000円/年 }
- ☆ ⑥ **放課後児童健全育成事業費**(◎行政P18) **97,319千円**
放課後児童クラブの土曜日開設を拡大
・通年開設校 5校 → 6校
・4、5月開設校 5校 → 11校 土曜日開設校17校

◎ ⑦ **重要文化財旧手宮鉄道施設機関車庫3号保存修理工事完成記念講演会等開催経費**(③行政P18) **600千円**

平成18年9月から平成21年10月までの間実施してきた保存修理工事が完了したことから、機関車庫3号の再公開に合わせ記念講演会を開催

- ・完成記念式典及び記念講演会 平成22年4月29日予定

◎ ⑧ **演劇「てけれっつのば」小樽公演実行委員会補助金**(⑥負担金補助P14) **700千円**

平成20年度文化庁芸術祭賞演劇部門大賞を受賞した小樽にゆかりのある演劇「てけれっつのば」公演を本市で開催

- ・劇団文化座公演 蜂谷涼氏(本市在住)原作
- ・公演日 平成23年2月12日(予定)
- ・会場 小樽市民センター(予定)

◎ ⑨ **小樽文学館・美術館再整備事業費**(④建設P4) **88,590千円**

小樽市分庁舎を文化芸術の専用施設として再整備

主な改修内容

- 1階 市民ギャラリー、多目的スペース、研修室、ミーティングルーム、管理事務室
- 3階 一原有徳展示室(再現アトリエ)
- 外構 多目的広場

2 とともに支え合い、安心して健やかに暮らせるまち(市民福祉)

◎ ① **オストメイト対応トイレ設備緊急整備事業費**(④建設P2) **5,000千円**

人工肛門等を装着している人の社会参加を促進するため、公共施設等にオストメイト対応トイレを10か所増設

- 市有施設 4施設5か所(運河プラザ、文学館・美術館②、総合博物館、生涯学習プラザ)
- 民間施設 3施設5か所(予定)

◎ ② **総合福祉センターほかトイレ改修関係** **3,150千円**

総合福祉センター身体障害者用トイレ設置工事費(⑤維持補修P2) **2,300千円**

- ・車椅子・オストメイト対応トイレを設置

身体障害者福祉センター施設維持補修費(⑤維持補修P1) **850千円**

- ・8か所に洗浄装置付き便座を設置

◎ ③ **子ども手当経費**(③行政P8) **1,047,550千円**

次代の社会を担う子どもの成長及び発達に資するため、子どもを養育している方に支給

- ・0歳から15歳到達後最初の年度末まで 13,000円/月・人

ただし、児童手当受給者には、児童手当との差額3,000円または8,000円を支給

- ☆ ④ **児童手当経費(③行政P8)** **783,950千円**
 次代の社会を担う児童の健全育成及び資質の向上を図るため、子どもを養育している方に支給
 ・0歳から12歳到達後最初の年度末まで 5,000円または10,000円/月・人
- ☆ ⑤ **児童扶養手当経費(③行政P8)** **818,100千円**
 父母の離婚などにより、父親と生計を同じくしていない児童を養育している母子家庭の生活の安定と自立を図るため支給。平成22年8月分から父子家庭にも支給を拡大
 支給額(月額)：児童一人世帯41,720円(所得により支給額が変更となる場合あり)
 第2子5,000円/人、第3子以降3,000円/人を加算
- ☆ ⑥ **母子家庭自立支援給付金支給事業費(⑥負担金補助P6)** **18,066千円**
 母子家庭の母の経済的な自立を促進するため、就業を支援
 ・対象者 母子家庭の母で児童扶養手当の受給者等
 ・支援内容 ①自立支援教育訓練給付金 市が指定した職業能力開発のための講座の授業料の一部を支給
 ②高等職業訓練促進給付金 看護師や介護福祉士等経済的自立に有効な資格取得のため、2年以上養成機関で修業する場合に、給付金を支給。また、入学金の負担軽減のため、入学修了一時金を支給
- ☆ ⑦ **入浴サービス事業(地域生活支援事業のうち)(③行政P5)** **3,000千円**
 在宅の障害者で自宅の浴室での入浴が困難な方に対し、移動入浴車による入浴サービスを実施
 平成21年度 月2回実施 → 平成22年度 月4回実施に拡大
- ◎ ⑧ **成年後見制度利用支援事業費(③行政P5、⑨介護)** **8,980千円**
 一般会計880千円、介護保険事業特別会計8,100千円
 相談から後見人等の受任まで一連の支援が可能となる「成年後見センター」を新たに開設する小樽市社会福祉協議会への財政支援と低所得者に対する後見人報酬を助成
 ※成年後見制度…判断能力が不十分な方の権利を守るために、家庭裁判所が成年後見人を選任し、財産管理や契約行為について代理することができる。後見人等は親族のほか、弁護士、司法書士、社会福祉士等の専門職が担っているが、認知症高齢者等の増加に伴い、限られた専門職では後見業務を受任できなくなりつつある。
- ◎ ⑨ **地域自殺対策緊急強化推進事業費(③行政P9)** **500千円**
 全国的に自殺者が増えていることから、地域における自殺対策を緊急に強化するために北海道に造成された「地域自殺対策緊急強化基金」を活用し、自殺予防対策を実施
 ・自殺予防啓発に関するリーフレット、ポスターを作成・配布

- ◎ ⑩ **地域保健診断事業費(③行政P10)** **1, 800千円**
 地域の疾病構造や受診動向、健康意識等について公衆衛生学の専門的見地から調査分析（地域診断）を行い、地域の実情に即した実効性の高い健康増進施策を計画的に展開
 平成22年度 職員の専門研修の受講、特定健診・がん検診に関する調査(アンケートを含む)・分析
- ⑪ **がん検診推進事業関係** **82, 788千円**
女性特有のがん検診推進事業費(③行政P10) **20, 388千円**
 特定の年齢に達した女性に対して、子宮頸がん及び乳がんに関する検診手帳及び検診費用が無料となる「がん検診無料クーポン券」を送付し、がん検診の受診を促進
 子宮頸がん 20歳、25歳、30歳、35歳、40歳
 乳がん 40歳、45歳、50歳、55歳、60歳
各種がん検診(健康診査事業費のうち)(③行政P10) **62, 400千円**
 職場で検診を受ける機会のない自営業の方、主婦、高齢者などで40歳以上の市民を対象としたがん検診と20歳以上の女性を対象とした子宮がん検診を実施
 ・検診種別 40歳以上の方 胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、乳がん検診(女性のみ)
 20歳以上の女性 子宮がん(子宮頸がん)検診

3 安全で快適な住みよいまち(生活基盤)

- ① **配水管整備及び改良工事(⑫水道)** **847, 852千円**
 ・配水管整備工事 市内一円配水管布設 L=7,270m 409, 476千円
 ・改良工事(老朽施設等改良工事ほか) 438, 376千円
 豊倉浄水場天日乾燥床築造工事、配水施設更新 ほか
- ② **汚水管整備及び処理場・ポンプ場の更新(⑬下水道)** **1, 142, 429千円**
 ・汚水管整備 156, 500千円
 錢函地区新設(L=221.5m)、勝納地区更新(L=461m)ほか
 ・処理場の更新(中央、錢函処理場) 745, 429千円
 水処理施設 機械設備更新 ほか
 ・ポンプ場の更新 240, 500千円
 朝里第1中継ポンプ場 機械・電気設備更新 ほか
- ③ **臨時市道整備事業費(④建設P3)** **400, 000千円**
 市民生活の安全及び円滑な交通を確保するため、道路改良を実施
 ・平成22年度整備予定 34路線
- ④ **公営住宅建替事業費(⑦特会P2)** **394, 650千円**
 オタモイ地区の老朽化した市営住宅を建替え。3号棟の建設を継続。4号棟実施設計など
 ・オタモイ3号棟: 45戸 平成22年度完成 建設工事費ほか383,050千円
 ・オタモイ4号棟: 45戸 実施設計ほか11,600千円(平成23・24年度建設予定)

⑤ 市営住宅改善事業費(⑦特会P1) **110,154千円**

- 「小樽市公共賃貸住宅長寿命化計画」に基づき、老朽化した市営住宅を計画的に改修
- ・長寿命化型改善 塩谷C-50-3 外壁・屋根、塩谷C3 外壁・屋根、新光F53-2 外壁
 - ・地上デジタル放送対応工事、火災警報器設置、ガス配管設備改修

☆ ⑥ バリアフリー等住宅改造資金関係 **24,806千円**

バリアフリー等住宅改造資金貸付金(③行政P14) **23,645千円**

住宅のリフォーム工事や高齢の方や身体に障害のある方のために住宅のバリアフリー等改造工事を行う際に、その工事に要する費用の一部を無利子で融資

- ・平成21年度まで バリアフリー等改造工事 上限額200万円
無落雪屋根等改造工事 上限額100万円
 - ・平成22年度から バリアフリー等工事 上限額200万円
リフォーム全般(無落雪、耐震補強を含む) 上限額200万円
- ※平成22年度から3年間、施工業者を市内の事業者に限定

バリアフリー等住宅改造資金負担金(⑥負担金補助P12) **1,161千円**

バリアフリー等住宅改造資金貸付制度に基づく融資の利子補給分

◎ ⑦ 木造住宅耐震改修促進経費(③行政P14) **630千円**

耐震性の確認や耐震改修の内容を検討するためには、耐震診断を実施する必要があるが、これらに要する費用が所有者の経済的な負担となっており、耐震化が進まない要因の一つとなっていることから、耐震診断費用の一部を助成し、木造住宅の耐震化率の向上を促進

- ・対象住宅 昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅
- ・助成額 耐震診断費用の2/3以内 上限額30,000円

◎ ⑧ ロードヒーティング更新事業費(④建設P3) **50,000千円**

老朽化したロードヒーティング施設を計画的に更新

平成22年度～23年度 千秋通線 410m 更新 (うち平成22年度 160m)

◎ ⑨ 旧国鉄手宮線整備事業費(④建設P4) **10,000千円**

旧国鉄手宮線活用懇話会などによる活用方策の検討を踏まえ、観光客の回遊性の向上や時間消費型観光の促進のため、中心市街地の新たな観光資源として旧国鉄手宮線を整備

平成22年度実施予定事業 「旧色内駅ステーション」整備など

⑩ ふるさとまちづくり協働事業推進経費(③行政P14) **3,070千円**

市民と協働のまちづくりを進めるため、「小樽ファンが支えるふるさとまちづくり資金基金」を活用し、個性豊かなまちづくり活動に取組み、本市の活性化に寄与する団体の事業を支援

- ・助成先の選定 民間の委員で構成する審査委員会が公開で審査
- ・助成額 1件につき30万円を上限

◎ ⑪ **機動力増強・近代化事業費(④建設P4)** **64,842千円**
災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車(5トン)を購入

☆ ⑫ **消費者行政活性化事業費(③行政P4)** **3,632千円**
消費者センターが市分庁舎から本庁舎へ移転することから、相談室のプライバシー確保のための個室化など環境整備を図るほか、相談員を研修会に派遣

4 人・もの・情報が交流する活力あるにぎわいのまち(産業振興)

◎ ① **農産物ブランド推進事業費補助金(⑥負担金補助P8)** **1,000千円**
食の「安心・安全」の観点から農産物のブランド化を推進するため、北海道の「北のクリーン農産物表示制度(イエスクリーン)」を活用し、クリーン農業技術の導入を進める取組団体に対し支援
・新規取組団体に対する支援 ピーマンの生産に係る経費の増嵩分とイエスクリーンマークの印刷経費を助成
・既存取組団体に対する支援 ミニトマトの連作障害防止にかかる経費の一部を助成

◎ ② **藻場造成事業費補助金(⑥負担金補助P9)** **700千円**
沿岸地域の岩礁域で発生している磯焼け現象の発生により昆布等の有効藻類が減少し、ウニ・アワビ等浅海資源に重大な影響を与えていることから、岩盤を覆っている石灰藻を除去し、海底の環境改善を図る新たな実証実験を小樽市漁業協同組合とともに実施

☆ ③ **空き店舗対策支援事業費(③行政P11)** **2,823千円**
小樽市商店街振興組合連合会に属する商店街等において、卸売・小売業を起業しようとする中小企業者が起業に資する研修を受講する経費及び受講後の店舗家賃の一部を助成
・研修受講助成 助成対象経費の2/3 上限額30,000円/人
・店舗家賃助成 助成対象経費の2/3 上限額50,000円/月 助成期間1年
既に事業を行っている中小企業者が、小樽市商店街振興組合連合会に属する商店街等において、空き店舗に出店(市内移転を除く)する場合の店舗家賃の一部を助成(H22拡充)
・店舗家賃助成 助成対象経費の1/2 上限額50,000円/月 助成期間6か月

④ **商店街等活性化事業関係** **20,000千円**

『小樽で買物』キャンペーンセール助成事業費(⑥負担金補助P10) **15,000千円**

各商店街団体がそれぞれの実態に即し、創意工夫を持って行う販売促進活動を支援

・助成率 対象経費の2/3 (H21は9/10)

・上限額 商店街団体の構成員数により 20万円、35万円、55万円、80万円の4区分
(H21は、30万円、50万円、70万円、100万円)

商店街年末年始大売出し支援事業費補助金(⑥負担金補助P10) **3,000千円**

小樽市商店街振興組合連合会が主催する「オールおたる年末年始大売出し」に対して支援

市場連合会販売促進活動支援事業費補助金(⑥負担金補助P10) **2,000千円**

小樽市場連合会が実施する「スタンプラリー(買物めぐり)」に対して支援

- ◎ ⑤ **中小企業倒産防止共済掛金助成金(⑥負担金補助P10)** **6,000千円**
 市内中小企業者の連鎖倒産を防止するため、取引先の倒産の際に有利な条件で貸付を受けられる「中小企業倒産防止共済」の新規加入を促すことを目的に、当該掛け金を助成
 ・助成対象 独立行政法人中小企業基盤整備機構が運営する中小企業倒産防止共済に新規に加入する中小企業者で6か月以上掛け金を支払った者
 ・助成金額 掛け金の1/2の額 月額上限20,000円、最大6か月分を助成
- ◎ ⑥ **東アジア等・マーケット開拓事業費(③行政P11)** **2,500千円**
 中国上海市において、平成20年度及び平成21年度に実施した現地市場調査事業をもとに物産展を開催し、本市地場産品の販売・PRを行うことにより販路の拡大を図る。また、対岸貿易に関するセミナーを開催
- ◎ ⑦ **新規観光ポスター制作事業費(観光宣伝費のうち)(③行政P12)** **2,800千円**
 現在の観光ポスターは制作から7年を経過しており、本市の更なるイメージアップを図るため、観光ポスター2種類を追加。公募によるコンペ方式により選定予定
- ◎ ⑧ **教育旅行等誘致促進事業費(観光宣伝費のうち)(③行政P13)** **3,800千円**
 修学旅行の誘致は、国内戦略の重要な柱であるとともに、将来にわたるリピーター対策であることから、官民、さらには広域での取組を推進
 ・スキー教育旅行誘致促進経費 12月～3月の閑散期に道外からの2泊以上の宿泊を伴う修学旅行を実施する小学校、中学校、高等学校に対し宿泊数に応じ助成
 宿泊延べ数150泊以下の学校 50,000円
 〃 150泊以上の学校 100,000円
 ・教育旅行ガイドブックの作成 平成17年度に作成した「小樽北後志教育旅行ガイドブック」を修正の上、増刷 2,000部
- ◎ ⑨ **観光と食のブランド推進事業費(観光宣伝費のうち)(③行政P13)** **1,500千円**
 本市の魅力を高める方策の一つとして、「食」のブランド化を図り、「観光」と連携した情報発信が重要であることから、季節のイベントとグルメのチラシの作成、メディアを活用したグルメ情報のPRや広告宣伝を行う。
- ◎ ⑩ **観光映像制作費(観光宣伝費のうち)(③行政P13)** **4,200千円**
 本市の魅力映像として提供するため、既存のPR映像の一部差し替えとコンテンツ別に編集した使いやすい映像ソフト(DVD)を作成し、情報発信に活用
 ・日本語、英語、韓国語、中国語(簡体字、繁体字)対応
 ・1コンテンツ 2～3分程度に編集 7～8コンテンツ制作
- ◎ ⑪ **外国人観光客受入推進事業費(観光宣伝費のうち)(③行政P13)** **2,000千円**
 経済発展の著しい中国をターゲットとした誘致活動を展開するため、市内の事業者等の受け入れ体制を整備するため、接遇や中国語会話などの研修会を開催

- ◎ ⑫ **天狗山観光推進検討経費(観光振興費のうち)(③行政P12)** **4,000千円**
 天狗山は、観光基本計画において重要な地域となっているとともに、市中心部に近接していることから市民に愛される貴重な財産となっており、天狗山の再整備方針などを含めた小樽観光の在り方を民間アドバイザーの意見を聞き検討
- ◎ ⑬ **東アジア圏観光客誘致事業費補助金(⑥負担金補助P11)** **4,500千円**
 平成22年5月から10月まで中国上海市において万国博覧会が開催され、9月の「北海道の日」において北海道や北海道観光振興機構とともに、上海万博キャンペーンに参加し、中国市場での本市知名度のアップを図るため、中国メディアを活用したプロモーション活動を展開
- ◎ ⑭ **ふれあい観光大使交流セミナー負担金(⑥負担金補助P11)** **700千円**
 平成18年度からスタートした「ふれあい観光大使」は、平成21年度で約50名が任命されているが、大使の半数は道外在住者であることから、これらの大使に来樽いただき、セミナーや魅力発掘ツアーなどにより、小樽の魅力を確認する機会を提供
- ⑮ **第3号ふ頭周辺利用高度化事業関係** **101,000千円**
 現状の荷役作業との協調を図りながら、クルーズ客船対応としての環境整備や物流・交流空間としての基盤整備を進め、第3号ふ頭周辺地域における利用高度化を推進
- 合同庁舎周辺整備事業費(④建設P2) **40,000千円**
 ・合同庁舎前通り線の道路整備 L=220m
- 第3号ふ頭岸壁改良事業費(④建設P2) **39,000千円**
 ・16番、17番バースのエプロン舗装等 A=3,340㎡
- 第3号ふ頭荷さばき施設改良事業費(⑦特会P1) **22,000千円**
 ・32号上屋の改良等 中通路側シャッター、荷さばき地舗装
- ◎ ⑯ **フェリー航路利用促進事業費補助金(⑥負担金補助P12)** **15,000千円**
 経済不況や高速道路料金の割引などの影響により、フェリー航路の維持が困難となることが懸念されることから、航路の維持と利用促進を図るため、有人トラックのフェリー料金の割引をフェリー会社とともに実施
- ・対象 小樽発→新潟着便の7m以上の有人トラック(積荷が空車の場合を除く)
 - ・期間 平成22年4月から9月までの6か月間
 - ・割引額 20,000円/台

- ◎ ⑰ **新規高等学校卒業生雇用奨励金**(③行政P10) **20,000千円**
 平成22年3月に道内の高等学校を卒業した者を雇い入れた事業所に対し、6か月以上の雇用を条件に奨励金を交付
- ・対象事業所
 - ①市内の事業所であって、雇用保険適用事業所であること
 - ②市内に本社・本店がある事業所又は市内に本社・本店は無いが、企業全体の従業員が100人以下の事業所
 - ③期限の定めのない常用雇用労働者として雇用すること
 - ④雇用した日の6か月前から奨励金の交付申請までに、事業所の都合により解雇したことがないこと
 - ⑤市税の滞納がないこと
 - ・対象となる者 市内に住民登録があり、平成22年3月に道内の高校を卒業した者
 - ・奨励金交付額 200,000円/人

- ☆ ⑱ **姉妹都市提携委員会交付金**(⑥負担金補助P1) **3,500千円**
 ナホトカ市（ロシア連邦）及びダニーデン市（ニュージーランド）との姉妹都市交流のほか、ソウル特別市江西区（韓国）の交流を推進
- ・姉妹都市提携30周年記念ダニーデン市使節団歓迎事業 平成22年7月下旬(予定)
 - ・姉妹都市提携30周年記念ダニーデン市使節団派遣事業 平成22年10月中旬(予定)
 - ・江西区代表使節団及びサッカー少年使節団歓迎事業 平成22年7月下旬(予定)

5 自然とまちなみが調和し、環境にやさしいまち（環境保全）

- ① **北しりべし廃棄物処理広域連合負担金**(⑥負担金補助P2) **1,365,730千円**
 北しりべし廃棄物処理広域連合（小樽市、積丹町、古平町、余市町、仁木町、赤井川村）によるごみ焼却施設及びリサイクルプラザの運営に要する経費
- ◎ ② **不法投棄・散乱ごみ監視等業務(不法投棄等対策関連経費のうち)**(③行政P3) **3,500千円**
 環境省の「地域グリーンニューディール基金」を活用し、不法投棄等対策として市内20か所で夜間パトロールを実施
- ・対象期間等 6月から11月まで 水曜日から日曜日までの夜間
- ◎ ③ **し尿処理施設整備事業費**(④建設P1) **3,000千円**
 現し尿処理場の老朽化に伴い、中央下水終末処理場でのし尿処理を目的として、し尿受入れ施設建設に向けた基本調査及び基本設計を実施
- ◎ ④ **都市公園安全・安心事業費**(④建設P3) **30,000千円**
 老朽化した公園施設の更新やバリアフリー化を進め、高齢の方や障害のある方も含めた公園利用者の安全・安心を確保
- 平成22年度実施予定事業 手宮公園トイレ増改築（バリアフリー化）等

【その他の施策】

① 自治基本条例検討事業費(③行政P2) 660千円

自治基本条例制定に向け、「自治基本条例策定委員会」を設置し、素案の検討を行うほか、ワークショップやフォーラム等を開催

- ・自治基本条例策定委員会 学識経験者、各種団体推薦、市民公募など15名で構成

② 定住自立圏構想推進経費(③行政P2) 200千円

北後志6市町村による「北しりべし定住自立圏」の形成に向けた取組を推進。今後、定住自立圏形成協定を締結し、「定住自立圏共生ビジョン」を策定

- ・中心市宣言 平成21年9月15日
- ・北しりべし定住自立圏 小樽市、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村で構成

③ 移住促進事業経費(③行政P2) 2,000千円

団塊世代などを対象に小樽市への移住を促進するため、専用ホームページによる情報提供や相談窓口で問い合わせに対応するほか、首都圏などで開催されるイベントに移住相談コーナーを設置するなどのPR活動を実施

また、民間事業者で構成する「おたる移住・交流推進事業研究会」と共同して移住PR活動を実施するとともに、移住ビジネス創出に向けて調査研究を推進

◎ ④ 国勢調査費(③行政P2) 66,000千円

大正9(1920)年以来、5年ごとに実施される国勢調査に要する経費。平成22年度は、10年ごとに行われる大規模調査を実施

◎ ⑤ 執行が予定される選挙にかかる経費(③行政P20) 72,500千円

| | |
|-----------------------------|----------|
| 参議院議員通常選挙費(平成22年7月執行予定) | 41,000千円 |
| 知事及び道議会議員選挙準備費(平成23年4月執行予定) | 15,000千円 |
| 市長及び市議会議員選挙準備費(平成23年4月執行予定) | 16,500千円 |

⑥ 地上デジタル放送関係 42,300千円

| | |
|--|----------|
| ◎ 桂岡・見晴地上デジタル中継局建設事業費(④建設P1) | 38,000千円 |
| ◎ 電波障害防除施設改修工事費(勤労女性センター)(④建設P1) | 1,700千円 |
| ◎ 電波障害防除施設改修工事費(消防本部庁舎、消防署、長橋出張所)(④建設P4) | 2,600千円 |